

令和2年度 国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果(目次)

法人番号	重点支援	大学名	頁
1	③	北海道大学	P1
2	①	北海道教育大学	P11
3	①	室蘭工業大学	P16
4	①	小樽商科大学	P19
5	①	帯広畜産大学	P25
6	①	旭川医科大学	P30
7	①	北見工業大学	P36
8	①	弘前大学	P40
9	①	岩手大学	P48
10	③	東北大学	P54
11	①	宮城教育大学	P61
12	①	秋田大学	P64
13	①	山形大学	P70
14	①	福島大学	P75
15	①	茨城大学	P80
16	③	筑波大学	P90
17	②	筑波技術大学	P99
18	①	宇都宮大学	P107
19	①	群馬大学	P113
20	①	埼玉大学	P119
21	③	千葉大学	P124
22	③	東京大学	P132
23	②	東京医科歯科大学	P141
24	②	東京外国語大学	P148
25	②	東京学芸大学	P156
26	③	東京農工大学	P163
27	②	東京芸術大学	P171
28	③	東京工業大学	P177
29	②	東京海洋大学	P182
30	②	お茶の水女子大学	P188
31	②	電気通信大学	P198
32	③	一橋大学	P203
33	①	横浜国立大学	P211
34	①	新潟大学	P217
35	①	長岡技術科学大学	P223
36	①	上越教育大学	P230
37	①	富山大学	P236
38	③	金沢大学	P242
39	①	福井大学	P249
40	①	山梨大学	P252
41	①	信州大学	P258
42	①	岐阜大学	P264
43	①	静岡大学	P273

法人番号	重点支援	大学名	頁
44	①	浜松医科大学	P281
45	③	名古屋大学	P283
46	①	愛知教育大学	P289
47	①	名古屋工業大学	P295
48	①	豊橋技術科学大学	P301
49	①	三重大学	P307
50	①	滋賀大学	P313
51	①	滋賀医科大学	P318
52	③	京都大学	P320
53	①	京都教育大学	P329
54	①	京都工芸繊維大学	P333
55	③	大阪大学	P337
56	①	大阪教育大学	P347
57	①	兵庫教育大学	P353
58	③	神戸大学	P360
59	①	奈良教育大学	P368
60	②	奈良女子大学	P372
61	①	和歌山大学	P378
62	①	鳥取大学	P383
63	①	島根大学	P389
64	③	岡山大学	P399
65	③	広島大学	P409
66	①	山口大学	P416
67	①	徳島大学	P422
68	①	鳴門教育大学	P434
69	①	香川大学	P441
70	①	愛媛大学	P447
71	①	高知大学	P453
72	①	福岡教育大学	P461
73	③	九州大学	P464
74	②	九州工業大学	P470
75	①	佐賀大学	P476
76	①	長崎大学	P484
77	①	熊本大学	P490
78	①	大分大学	P496
79	①	宮崎大学	P501
80	①	鹿児島大学	P505
81	②	鹿屋体育大学	P511
82	①	琉球大学	P517
83	②	政策研究大学院大学	P525
84	②	総合研究大学院大学	P533
85	②	北陸先端科学技術大学院大学	P539
86	②	奈良先端科学技術大学院大学	P545

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
24	東京外国語大学		(4)			ガバナンス強化により大学組織の効果的運用による職員の平均残業時間の減少		目標値 平成27年度 (単位:時間/人)	20.0	19.8	19.6	19.4	19.2	19.0	b	b		
							20.2	実績値 (単位:時間/人)	19.9	18.9	15.3							
							124.3%	達成状況(率)	100.5%	104.5%	121.9%			80.5%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
25	東京学芸大学	本学は、第3期中期目標期間が日本の社会及び教育の大きな転換点であると認識し、「協働して課題を解決する力」、「多様性を尊重する力」、「自己を振り返り、自己を表現する力」、「新しい社会を創造する力」という四つの力を持った次世代の子どもの育成を目指す次世代育成教育を推進し、日本の教育を主導する全国的拠点大学となるとともに、広く海外に日本の教育成果を発信することを目標とする。	1	次世代育成教育を担う教員の養成	アクティブ・ラーニングを指導する能力と、チームアプローチ力を重視した新しい教員を養成する仕組みを構築し、次世代育成教育を担う教員の養成に取り組む。また、AOの機能を持つ組織を設置し、次世代育成教育を担うために適した人材を選抜するとともに、学生を海外に派遣して多様な経験を積ませることで、現代の教育課題に積極的に対応できる教員の養成を行う。さらに、教職大学院での教育課程と教育内容を抜本的に見直し、「東京学芸大学専修免許スタンダード」を設置する。これにより、大学院を修了した教員の高度化を図り、同時に大学院教育学研究科において、IB教育の教員を養成する。加えて、従来の教科専門科学を教育内容構成学に再構築し、教職大学院における教育課程の編成と、教育職員免許法・同施行規則・教職課程認定基準の改正に連動して、学部のカリキュラムの見直しを図る。			目標値 平成27年度 (単位:名)	1,010	2,020	3,030	4,040	4,040	4,040	b	b		
							6	実績値 (単位:名)	2,037	3,537	3,590							
							59833.3%	達成状況(率)	201.7%	175.1%	118.5%			88.9%				
								目標値 平成27年度 (単位:名)	10	10	36	36	36	36	b	a		
							10	実績値 (単位:名)	13	14	47							
							470.0%	達成状況(率)	130.0%	140.0%	130.6%			130.6%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
25	東京学芸大学		(1)			国際バカロレア機構認定校の教員養成プログラム受講者数	平成27年度	目標値 (単位:名)	5	7	9	30	30	30	b	b
							3	実績値 (単位:名)	5	11	11					
							366.7%	達成状況 (率)	100.0%	157.1%	122.2%			36.7%		
						教員就職率	平成27年度	目標値 (単位:%)	68.2	68.5	68.9	69.3	69.6	70	b	d
							67.8	実績値 (単位:%)	67.7	69	64.9					
							95.7%	達成状況 (率)	99.3%	100.7%	94.2%			92.7%		

-157-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
25	東京学芸大学		2	現職教員に対する次世代育成教育の研修	全国の教育委員会等と連携して、現職教員の研修に関するニーズを調査・分析するとともに、強みを生かした先進的な教育実践研究とその基盤となる基礎研究に基づいて、次世代の子どもの育成を目指した諸課題を具体的に検討し、教育改革に資する研修プログラムを開発する。併せて現職教員研修を効果的に実施するために、本学にある教育実践研究支援センター等を再編し、現職教員研修の機能を統合した組織を整備する。	大学・附属学校の教員による現職教員研修の実施状況(累積受講者数)	平成27年度中	目標値 (単位:名)	11,276	18,626	27,326	37,376	48,776	61,526	b	b
							5,276	実績値 (単位:名)	11,307	23,583	37,886					
							718.1%	達成状況 (率)	100.3%	126.6%	138.6%			61.6%		
						国際バカロレア機構認定校の教員資格研修における現職教員数(派遣教員の受入人数)	平成27年度中	目標値 (単位:名)	5	7	9	11	13	15	b	b
							3	実績値 (単位:名)	5	11	11					
							366.7%	達成状況 (率)	100.0%	157.1%	122.2%			73.3%		

-158-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
25	東京学芸大学		3	次世代育成教育の実現に向けた教育支援	「チーム学校」「地域学校協働本部」といった次世代育成教育型の、教員と連携・協働して学校を支える教育支援職を、チームアプローチ及び教育支援の専門的スキルとコーディネート力を持った教育者として養成するとともに、学校と教育支援職を結びコーディネート体制の社会的構築に寄与し、様々な教育関係組織と連携した教育支援事業を展開する。	「チーム学校」及び「チームアプローチ」を内容とした講義の受講者数	平成27年度	目標値 (単位:名)	1,010	2,020	3,030	4,040	4,040	4,040	b	b
							6	実績値 (単位:名)	2,037	3,537	3,590					
							59833.3%	達成状況 (率)	201.7%	175.1%	118.5%			88.9%		
						チーム学校、学校地域協働活動を社会実装するための、産学連携共同研究数	平成27年度	目標値 (単位:件)	44	46	48	50	52	54	b	b
							42	実績値 (単位:件)	51	54	54					
							128.6%	達成状況 (率)	115.9%	117.4%	112.5%			100.0%		

-159-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
25	東京学芸大学		(3)			「教育支援」を対象にした研究論文の累積件数	平成27年度末	目標値 (単位:件)	27	44	61	78	95	112	b	a
							10	実績値 (単位:件)	44	72	103					
							1030.0%	達成状況 (率)	163.0%	163.6%	168.9%			92.0%		
						教育支援職への就職率	平成27年度	目標値 (単位:%)	20	22	50	55	60	60	b	b
							18.6	実績値 (単位:%)	21.7	23.7	59.8					
							321.5%	達成状況 (率)	108.5%	107.7%	119.6%			99.7%		

-160-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								平成27年度末	42	128.6%	平成27年度末	0	—			
25	東京学芸大学		4	次世代教育モデルの研究・発信と拠点作り	本学は、種々の教育関係機関や教員養成大学等と協働して、次世代育成教育に関する研究を推進してその成果発信の拠点となり、教育改革を先導する。具体的には、OECDが目指すEducation2030の一環として開発する教育方法、大規模教員養成系大学(北海道教育大学、愛知教育大学、東京学芸大学、大阪教育大学:HATOプロジェクト)で開発する教員養成の高度化、国際バカロレア機構と連携したグローバル化に対応する教員養成プログラム等の発信である。	次世代育成教育に関する研究成果の情報提供を行った効果(教育に関係するテーマで外部企業と産学連携共同研究を進めることに至っている件数の年度値)	平成27年度末	目標値 (単位:件)	44	46	48	50	52	54	b	b
							42	実績値 (単位:件)	51	54	54					
							128.6%	達成状況 (率)	115.9%	117.4%	112.5%			100.0%		
							平成27年度末	目標値 (単位:件)	12	24	36	48	60	72	b	a
							0	実績値 (単位:件)	27	64	86					
							—	達成状況 (率)	225.0%	266.7%	238.9%			119.4%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								平成27年度中	3	366.7%	平成27年度	2	1400.0%			
25	東京学芸大学		(4)		国際バカロレア機構認定校の教員資格研修における現職教員数(派遣教員の受入人数)	国際バカロレア機構認定校の教員資格研修における現職教員数(派遣教員の受入人数)	平成27年度中	目標値 (単位:名)	5	7	9	11	13	15	b	b
							3	実績値 (単位:名)	5	11	11					
							366.7%	達成状況 (率)	100.0%	157.1%	122.2%			73.3%		
							平成27年度	目標値 (単位:名)	6	12	18	24	30	36	b	a
							2	実績値 (単位:名)	7	14	28					
							1400.0%	達成状況 (率)	116.7%	116.7%	155.6%			77.8%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
26	東京農工大学	本学は、2024年の創基150周年に向けた大学改革・研究力強化方針「世界に向けて日本を牽引する大学としての役割を果たす」の実現に向け、第3期中期目標期間における学長ビジョンとして『世界が認知する研究大学へ』を掲げている。このビジョンを実現するため、これまで築いてきた産学連携の基盤と世界各国の教育研究機関、国際機関等との国際研究ネットワークを一層強化し、右の4つの戦略に重点的に取り組むこととしている。	1	世界と競える先端研究力の強化	我が国が国際社会において一層の存在感を発揮するには、大学が先端研究力を強化し、産業界と連携して国際社会に新たな価値を創造するイノベーションを継続的に創出し続けるとともに、このような社会の実現に向けた理系イノベーション人材の輩出を担うことが不可欠であり、産業界・社会から大学への変革・機能強化が強く求められている。本学は、世界に向けて日本を牽引する理系研究大学として、我が国のイノベーション創出を牽引するとともに、継続的にイノベーションを創出する社会を実現する理系イノベーション人材の輩出を担うため、その核となる『世界と競える先端研究力の強化』を戦略として掲げている。	1-1 常勤教員1人あたりの論文数(Web of science 掲載論文数)の増加状況	平成27年	目標値 (単位:報)	1.68	1.78	1.83	1.88	1.93	1.98	b	b	
							1.67	実績値 (単位:報)	1.69	1.94	2.00						
							119.8%	達成状況 (率)	100.6%	109.0%	109.3%			101.0%			
							平成27年	目標値 (単位:%)	41	42	44	46	48	50	b	d	
								41	実績値 (単位:%)	40	42	39					
								95.1%	達成状況 (率)	97.6%	100.0%	88.6%					78.0%

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
26	東京農工大学		(1)			1-3 グローバルイノベーション研究院における国際共著論文率の増加状況	平成27年	目標値 (単位:%)	34	35	36	37	38	40	b	b
							32	実績値 (単位:%)	38.1	35.1	42.3					
							132.6%	達成状況 (率)	112.1%	100.3%	117.5%			105.8%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
26	東京農工大学		2	国際社会との会話を持った教育研究の推進	社会・産業構造がグローバル化する現代において、大学には、国際社会で存在感を発揮し、グローバルな社会で活躍できる人材を輩出する教育研究のグローバル化が強く求められている。本学は、世界に向けて日本を牽引する理系研究大学として、我が国のイノベーション創出を牽引するとともに、継続的にイノベーションを創出する社会を実現する理系イノベーション人材の輩出を担うため、その実現に不可欠な教育研究のグローバル化、すなわち『国際社会との対話力を持った教育研究の推進』を戦略に掲げている。	2-1 学部卒業時点までに海外留学に必要なTOEFL ITP500点(またはTOEIC600点)を取得する学生の割合	平成27年	目標値 (単位:%)	10	12	14	16	18	20	b	a
							8.5	実績値 (単位:%)	11.6	16.5	30.7					
							361.2%	達成状況 (率)	116.0%	137.5%	219.3%			153.5%		
						2-2 大学院生のうち、海外派遣(海外機関との連携で実施する共同研修プログラム等)への参加学生数の増加状況	平成27年	目標値 (単位:人)	140	155	170	190	210	230	b	b
							126	実績値 (単位:人)	152	157	208					
							165.1%	達成状況 (率)	108.6%	101.3%	122.4%			90.4%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
26	東京農工大学		(2)			2-3 海外機関との留学交流プログラムにより海外連携機関から本学に受け入れる外国人学生数の増加状況	平成27年	目標値 (単位:人)	225	230	235	240	245	250	b	b
							221	実績値 (単位:人)	312	249	277					
							125.3%	達成状況 (率)	138.7%	108.3%	117.9%			110.8%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
26	東京農工大学		3	日本の産業界を国際社会に向けて牽引	我が国が国際社会においてより一層存在感を発揮するには、大学が先端研究力を強化し、産業界と連携して国際社会に新たな価値を創造するイノベーションを継続的に創出し続けるとともに、このような社会の実現に向けた理系イノベーション人材の輩出を担うことが不可欠であり、産業界・社会からもこれを牽引する大学への変革・機能強化が強く求められている。本学は、先に実施されたミッション再定義においても、本学の強みであり、特色である産業界との連携基盤を一層発展させ、我が国のイノベーションの創出を牽引し、理系イノベーション人材の輩出に寄与することが求められており、その使命を果たすため、「日本の産業界を国際社会に向けて牽引」を戦略に掲げている。	3-1 民間企業との共同研究における常勤教員1人あたりの受入件数の増加状況	平成27年	目標値 (単位:件)	0.71	0.76	0.81	0.86	0.91	0.95	b	b
							0.66	実績値 (単位:件)	0.79	0.88	1.01					
							153.0%	達成状況 (率)	111.3%	115.8%	124.7%			106.3%		
						3-2 常勤教員1人あたりの共同研究受入額の増加状況	平成27年	目標値 (単位:千円)	1,200	1,260	1,320	1,380	1,440	1,500	b	a
							1,054	実績値 (単位:千円)	1,374	1,628	1,814					
							172.1%	達成状況 (率)	114.5%	129.2%	137.4%			120.9%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
26	東京農工大学		(3)			3-3 収入額に対する外部資金比率の向上の状況	平成27年	目標値 (単位:%)	17.25	17.8	18.35	18.9	19.45	20	b	b
							16.7	実績値 (単位:%)	17.5	18.1	19.9					
							119.0%	達成状況 (率)	101.4%	101.7%	108.3%			99.4%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
26	東京農工大学		4	高度なイノベーションリーダーの養成	我が国が国際社会においてより一層存在感を発揮するには、大学が先端研究力を強化し、産業界と連携して国際社会に新たな価値を創造するイノベーションを継続的に創出し続けるとともに、このような社会の実現に向けた理系イノベーション人材の輩出を担うことが不可欠であり、産業界・社会からもこれを牽引する大学への変革・機能強化が強く求められている。本学は、先に実施されたミッション再定義においても、本学の強みであり、特色である産業界との連携基盤を一層発展させ、我が国のイノベーションの創出を牽引し、理系イノベーション人材の輩出に寄与することが求められており、その使命を果たすため、『高度なイノベーションリーダーの養成』を戦略に掲げている。	4-1 博士(後期)課程学生のうち、学外機関との共同研究、インターンシップ等に従事した学生の増加状況	平成27年	目標値 (単位:人)	60	80	100	120	140	160	b	b
							39	実績値 (単位:人)	77	106	106					
							271.8%	達成状況(率)	128.3%	132.5%	106.0%			66.3%		
						4-2 大学院学生の学会等における受賞数の増加	平成27年	目標値 (単位:件)	66	72	78	84	90	95	b	b
							60	実績値 (単位:件)	70	75	82					
							136.7%	達成状況(率)	106.1%	104.2%	105.1%			86.3%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
26	東京農工大学		(4)			4-3 博士(後期)課程修了者の研究開発職への就職率	平成27年	目標値 (単位:%)	26	27	29	32	36	40	b	a
							25	実績値 (単位:%)	40	31	40					
							160.0%	達成状況(率)	153.8%	114.8%	137.9%			100.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								目標値 (単位:人)	実績値 (単位:人)	達成状況 (率)	目標値 (単位:人)	実績値 (単位:人)	達成状況 (率)			
27	東京芸術大学	海外一線級アーティストユニット誘致による指導体制強化や教育研究組織改革、世界トップアーティストの戦略的育成のための人材育成プログラム改革等により、「世界の頂」へ飛躍。国際的な活動はもとより、国内全域の芸術文化潜在力を活かした全国的な活動を展開。加えて、芸術大学固有のブランディング実行による国際プレゼンス確立、国際芸術市場へのプロモーションによる経営力基盤強化等持続可能型マネジメントシステムを構築	1	海外一線級アーティストユニット誘致等、海外一流芸術大学等との連携・ネットワーク基盤を一層強化し、『世界を魅了するトップアーティスト育成』を実行するための戦略的な大学院組織整備や世界最高水準の実践型人材育成プログラム構築を推進することにより、国際舞台で躍動する芸術家育成を加速化。	国際共同授業科目 受講者数	平成27年度中	目標値 (単位:人)	115	172	229	286	343	400	b	b	
						105	実績値 (単位:人)	118	184	259	/	/	/			
						246.7%	達成状況 (率)	102.6%	107.0%	113.1%	/	/	64.8%			
						平成27年度中	目標値 (単位:人)	287	329	372	415	457	500	b	a	
							244	実績値 (単位:人)	309	358	495	/	/			/
							202.9%	達成状況 (率)	107.7%	108.8%	133.1%	/	/			99.0%
教員・学生の海外展示・演奏等実施者数						平成27年度中	目標値 (単位:人)	287	329	372	415	457	500	b	a	
						244	実績値 (単位:人)	309	358	495	/	/	/			
						202.9%	達成状況 (率)	107.7%	108.8%	133.1%	/	/	99.0%			

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
								目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)	目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)		
27	東京芸術大学		(1)		国際的な展覧会・コンクール受賞数	平成27年度中	目標値 (単位:件)	78	83	87	91	96	100	b	b
						74	実績値 (単位:件)	86	84	93	/	/	/		
						125.7%	達成状況 (率)	110.3%	101.2%	106.9%	/	/	93.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点								
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度										
								平成27年度 中	目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成 状況 (率)	平成27年度 中	目標値 (単位:人)			実績値 (単位:人)	達成 状況 (率)						
27	東京芸術大学		2	国内外一線級 アートプロ デュースユ ニット誘 致を中核と した教育 研究組織・人 材育成プロ グラム改 革等による 世界展開 力・大学 経営力強化	国内外一線級の プロデューサーや ディレクター、キュ レーター等との連 携・ネットワーク基 盤を構築し、我が 国のアーティスト・ 作品成果等芸術 文化価値の世界 展開を牽引する 『世界を席巻する アートプロデュ ース人材育成』の ための戦略的な大 学院組織整備や 先駆的な人材育 成プログラム構築 を推進するととも に大学の経営力 を高めるための 発信力強化やブラン ディング等国際 プレゼンス向上の ためのマネジメント 改革を 実行。	学生がプロデュ ース・マネジメン ト等を行 った演奏会・展覧 会等企画の件数	0	目標値 (単位:件)	3	5	8	10	13	15	b	b							
							10	実績値 (単位:件)	4	8	11												
							1	達成 状況 (率)	133.3%	160.0%	137.5%			73.3%									
							27	東京芸術大学		(2)		自己収入(学生納 付金を除く)・産学 連携等研究収入・ 寄附金収入の金額	海外活動実績保有 専任教員数	106	目標値 (単位:人)	122	137	153	169	184	200	b	b
														149.1%	実績値 (単位:人)	129	145	158					
															達成 状況 (率)	105.7%	105.8%	103.3%			79.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								平成27年度 中	目標値 (単位:百万 円)	実績値 (単位:百万 円)	達成 状況 (率)	平成27年度 中	目標値 (単位:百万 円)			実績値 (単位:百万 円)
27	東京芸術大学		(2)		自己収入(学生納 付金を除く)・産学 連携等研究収入・ 寄附金収入の金額		996	目標値 (単位:百万 円)	1,163	1,331	1,498	1,665	1,883	2,000	b	b
							151.2%	実績値 (単位:百万 円)	2,406	1,575	1,506					
								達成 状況 (率)	206.9%	118.3%	100.5%			75.3%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度			
27	東京芸術大学		3	我が国が固有の芸術文化力や産学官連携基盤を活かしたイノベーション創出等	我が国が世界に誇る芸術文化力を武器に、世界展開を視野に入れた産学官連携基盤を活かしたイノベーション創出等を担う『世界を先導するアートイノベーション人材育成』のための戦略的な組織整備や先導的な人材育成プログラム構築を推進するとともに、「上野の杜」の芸術文化資源を活かし、アジアにおける中核拠点としての機能を抜本的に強化することにより世界を代表する『国際芸術教育研究拠点』へ飛躍。	芸術系機関・団体との連携実施数	平成27年度中	目標値 (単位:件)	267	283	300	317	333	350	b	b
							250	実績値 (単位:件)	269	291	357					
							142.8%	達成状況 (率)	100.7%	102.8%	119.0%			102.0%		
						非芸術系機関・団体との連携実施数	平成27年度中	目標値 (単位:件)	178	188	198	215	230	245	b	b
							168	実績値 (単位:件)	189	198	249					
							148.2%	達成状況 (率)	106.2%	105.3%	125.8%			101.6%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度			
27	東京芸術大学		(3)			企業・自治体等からの受託事業等件数	平成27年度中	目標値 (単位:件)	128	133	140	160	180	200	b	a
							123	実績値 (単位:件)	128	148	186					
							151.2%	達成状況 (率)	100.0%	111.3%	132.9%			93.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
28	東京工業大学	本学は、第3期中期目標として、『日本の東工大から世界のTokyo Techへ』を基本方針に掲げ、学長によるリーダーシップ型ガバナンス改革(学長による部長指名、役員会によるすべての教員人事配置・選任制度の導入)を最大限活用して大学の総力を結集し世界のトップクラスの教育研究体制を構築。創立150周年を迎えようとする2030年を目前に世界のトップ10に入るリサーチユニバーシティを目指す。	1	世界に飛翔する気概と人間力を備え、科学・技術を俯瞰できる優れた人材の輩出	大学の総力を結集して教育改革を行う。学部・大学院を統一した学院での一貫教育により、学生のキャリアパスに沿った能力養成を実施し、グローバル社会で活躍できる修士の輩出を目指す。世界トップレベルの研究者・リーダーとなる博士の輩出を目指す新しい教育システムを構築する。次代を切り拓く国際レベルの理工系人材を育成するため、徹底した英語化を推進し、世界トップレベルの教育力を培い、自律的・持続的に教育の質を向上させる。	外国人留学生の割合	平成26年度末時点	目標値 (単位:%)	18.0	19.0	20.0	20.7	21.4	22.0	b	b	
							17	実績値 (単位:%)	20.5	21.4	23.4						
							137.6%	達成状況(率)	113.9%	112.6%	117.0%			106.4%			
							大学院における英語による授業科目の割合	平成26年度末時点	目標値 (単位:%)	33	50	62.5	75	87.5	100	b	a
								31	実績値 (単位:%)	41	61.9	75.1					
								242.3%	達成状況(率)	124.2%	123.8%	120.2%			75.1%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
28	東京工業大学		(1)			外国人教員等の割合	平成26年5月1日時点	目標値 (単位:%)	16.0	16.9	17.8	18.8	19.5	20.0	b	b
							14.7	実績値 (単位:%)	19.3	20.9	21.1					
							143.5%	達成状況(率)	120.6%	123.7%	118.5%			105.5%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
								28	東京工業大学		2	最先端・新融合領域を開拓し、イノベーションを牽引する「世界の研究ハブ」の実現	「世界トップ10に入るリサーチユニバーシティ」を目指し、研究所、研究センターを統合した科学技術創成研究院を創設して研究管理機能を強化した上で、世界的な知と人材の環流を促す世界の研究ハブを構築し、さらに健康医療を始めとする柔軟性の高い研究組織を研究ユニットとして創出することにより、国際競争力の高い研究を強力に推進する。これらの取組を通じて優れた研究成果とイノベーションを生み、産業・社会に貢献する。		
2.38	実績値 (単位:編) 2.44	2.44	2.50	/	/	/									
105.0%	達成状況(率) 100.0%	100.0%	102.0%				95.8%								
					本学におけるTop10%論文割合	InCites(トムソン)2011-2015 ※2016年5月検索値 目標値 (単位:編) 10	10.2	10.4	10.7	12.5	14.6	b	b		
9.79	実績値 (単位:編) 10.1	10.65	11.30	/	/	/									
115.4%	達成状況(率) 101.0%	104.4%	108.7%				77.4%								

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
								28	東京工業大学		(2)				
1	実績値 (単位:億円) 10.1	6.3	14.9	/	/	/									
1490.0%	達成状況(率) 404.0%	157.5%	270.9%				149.0%								

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
28	東京工業大学		3	研究成果の社会実装を促進する産学連携・社会連携改革	「世界のトップ10に入るリサーチユニバーシティ」を目指して、研究成果の産業への転化を通じた社会貢献を旨とする本学独自の特性を十分に発揮しながら社会の変化に先んじて的確に対応し、産業界に貢献する。そのために、学内者にも学外者にも利便性の高い世界トップレベルの研究環境を整備するとともに、新たな産学連携・社会連携推進プラットフォームを構築して、未来産業の創造と科学・技術を通じた社会変革を実現する。	共同研究・受託研究費(民間)の受入額	平成27年度	目標値 (単位:億円)	21.2	23.9	26.7	29.5	32.2	35.0	b	b
							18	実績値 (単位:億円)	21.8	25.0	29.2					
							158.7%	達成状況(率)	102.8%	104.6%	109.4%			83.4%		
						平成16年度(法人化)以降の知財収入を本学にもたらした東工大発ベンチャーの累計	平成27年度	目標値 (単位:社(累計))	19	21	23	25	27	30	b	a
							17	実績値 (単位:社(累計))	20	23	29					
							170.6%	達成状況(率)	105.3%	109.5%	126.1%			96.7%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
29	東京海洋大学	我が国唯一の海洋系大学である本学は「海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点として、海洋に関する深い科学的認識を持ち、国際的に活躍できる高度な人材養成を行う。この基本的観点に立ち、海洋国家である日本にとって益々重要となる学術諸分野の教育・研究の拠点となり、その水準と獨創性を持って国内外で高い評価を受ける大学へと進化発展し、明日の海洋分野を担い新たな産業を創造する人材を育成する。	1	海洋産業人材育成のための教育研究の中心拠点として、海洋に関する深い科学的認識を持ち、国際的に活躍できる高度な人材養成を行う。この基本的観点に立ち、海洋国家である日本にとって益々重要となる学術諸分野の教育・研究の拠点となり、その水準と獨創性を持って国内外で高い評価を受ける大学へと進化発展し、明日の海洋分野を担い新たな産業を創造する人材を育成する。	学長のリーダーシップの下、教学マネジメントシステムを改善し、学長が定めたビジョン2027に掲げる国際的な基準を満たす質の高い教育を保證するカリキュラムを組み立て、海洋分野で世界をリードする獨創的な教育プログラムを構築するために、「教育組織の再編」「教育の質の改善」「グローバル化への対応」に取り組み、「海洋産業人材育成のための教学マネジメントシステム整備・充実」を実現する。	組織的な学修支援体制強化 水産・海洋系分野関連業種への就職割合(水産・海洋系分野関連業種就職者数/全体就職者数)	平成22年度から27年度までの平均値	目標値 (単位:%)	74	75	76	77	78	79	b	b
							73.5	実績値 (単位:%)	77.8	76.2	76.4					
							103.9%	達成状況(率)	105.1%	101.6%	100.5%			96.7%		
						教育資源を活用した教育効果の最大化 成績向上者割合(GPA向上者数/学生数)の第3期中の平均値	平成27年度末	目標値 (単位:%)	63	65	67	69	71	73	b	c
							61	実績値 (単位:%)	72	66	66					
							108.2%	達成状況(率)	114.3%	101.5%	98.5%			90.4%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
29	東京海洋大学		(1)		グローバル化を踏まえた入試及び学部教育の改善 学年毎英語力向上 (TOEIC L&Rスコア600点取得状況)	平成27年度末	目標値 (単位:%)	54	54	60	65	68	70	b	b		
						16.5	実績値 (単位:%)	57.8	59.3	64.6							
						391.5%	達成状況 (率)	107.0%	109.8%	107.7%			92.3%				
							学生の海外派遣の増加状況(協定校への交換留学及び各種グローバル教育プログラムによる派遣実績)	平成27年度の派遣実績	目標値 (単位:人)	80	100	120	138	138	138	b	b
								69	実績値 (単位:人)	113	152	151					
								218.8%	達成状況 (率)	141.3%	152.0%	125.8%			109.4%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
29	東京海洋大学		2	海洋科学技術研究における中核的拠点形成	科学技術の未来像を海洋分野で具現化する中心を担いつつ、海洋・海事・水産各分野におけるトップクラスの研究および産業界と緊密に連携した実学重視の研究を行うため、本学の強み・特色である「練習船」をはじめとする共同利用施設等のリソース活用を更に促進し、大学の枠を超えた産官学連携のグローバルな調査研究に取り組むことで、海洋科学技術研究の中核を担う拠点形成を目指す。	平成26年度、27年度の平均値	目標値 (単位:%)	45	46	47	48	49	50	b	c		
						43	実績値 (単位:%)	45.6	46.6	46.4							
						107.9%	達成状況 (率)	101.3%	101.3%	98.7%			92.8%				
							産学間の研究連携についての評価指標: 企業等との契約に基づく年ごとの共同研究件数	第2期中期計画期間中の平均値	目標値 (単位:件/年)	137	144	151	159	167	175	b	b
								137	実績値 (単位:件/年)	140	167	185					
								135.0%	達成状況 (率)	102.2%	116.1%	122.5%			105.8%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
29	東京海洋大学		(2)			国際的な研究連携についての評価指標: 本学のWeb of Science採録論文(暦年)に占める国際共著論文の比率	2010~2015年(暦年)の平均値	目標値 (単位:%)	32	33	34.5	36.0	37.5	38.5	b	b
							31	実績値 (単位:%)	35.2	36.3	37.4					
							120.6%	達成状況(率)	110.0%	110.0%	108.4%			97.1%		
						練習船をはじめとする共同利用施設等を活用した研究活動の指標: 水圏科学フィールド教育研究センターおよび附属練習船を利用する研究について獲得した競争的資金の累積額(平成28年度からの累積額。競争的資金は科研費および該当する受託研究費)	平成26年度、27年度の平均獲得額×年数(下記数値は2年分)	目標値 (単位:百万円)	328	674	1,039	1,424	1,830	2,258	b	b
							622	実績値 (単位:百万円)	335	779	1,120					
							180.2%	達成状況(率)	102.2%	115.6%	107.8%			49.6%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
29	東京海洋大学		3	機能強化に向けたガバナンス改革	海洋・海事・水産の各分野において、社会が求める研究者を含む高度専門職業人を養成するため、学長のリーダーシップの下、教員配置を整備するための「教員配置戦略会議」の運営及び新しい人事制度等を導入するための「教員給与制度改革」の実施を改革の柱として、効率的・合理的な管理・運営が行われるユニバーシティ・ガバナンスを実現する。	学内施設等を活用した財政基盤の強化 学内施設等を活用して得られた自己収入額	平成22年度から平成27年度の財産貸付料累積額	目標値 (単位:千円)	117,767	235,534	353,301	471,068	588,835	706,602	b	b
							679,030	実績値 (単位:千円)	122,598	253,978	389,994					
							57.4%	達成状況(率)	104.1%	107.8%	110.4%			55.2%		
						教員人事一元化を実施し、効率的・合理的な管理・運営を行うための人的財源留保の達成状況(教授相当人数換算・累積値)	平成27年度時点	目標値 (単位:人)	6	12	18	24	30	36	b	b
							0	実績値 (単位:人)	6	12	18					
							—	達成状況(率)	100.0%	100.0%	100.0%			50.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
29	東京海洋大学		(3)			若手教員(40歳未満)の人数	平成25 (2013)年度 時点	目標値 (単位:人)	38	38	39	40	42	43	b	b
							38	実績値 (単位:人)	41	40	40					
							105.3%	達成 状況 (率)	107.9%	105.3%	102.6%			93.0%		
						最適な学内資源配 分のためのスペース 重点・再配分	平成28年度	目標値 (単位:m ²)	—	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	b	b
							0	実績値 (単位:m ²)	—	1,013.4	5,906.0					
							—	達成 状況 (率)	—	101.3%	295.3%			118.1%		

-187-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
30	お茶の水女子大学	【ビジョン:「高度な専門知識」「適切に判断できる見識」「多様なあり方に対して寛容」であるグローバル女性リーダーを育成】	1	理工系女性リーダーの育成	奈良女子大学と共同で「理系女性教育開発共同機構」及び「生活工学共同専攻」を設置し、両大学を中心とした理工系女性リーダー育成拠点構築すること、質・量の両面から優れた理工系女性リーダーを育成する。共同機構では、各教育課程での理数科教育とその環境を見直し、女子生徒の理数志向を高める。共同専攻では、生活科学と工学を融合した「生活工学」を創成し、理工系分野への女性進出拡大を図る。	理系進学への興味・関心の状況を測る客観的評価として、「児童生徒や保護者等を対象」とした理系人材育成に関するシンポジウム・セミナーへの参加者数	平成27年度	目標値 (単位:人)	500	550	600	650	650	650	b	b
							295	実績値 (単位:人)	566	694	763					
							258.6%	達成 状況 (率)	113.2%	126.2%	127.2%			117.4%		
						工学系大学院に対する学生の注目度を測る指標として、大学院生活工学共同専攻の博士前期課程受験者数	平成28年度 設置における 入学定員 (博士前期 課程)	目標値 (単位:人)	12	12	12	12	12	12	b	a
							7	実績値 (単位:人)	18	18	23					
							328.6%	達成 状況 (率)	150.0%	150.0%	191.7%			191.7%		

-188-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
30	お茶の水女子大学		(1)														
						工学系女性人材の輩出状況を測る指標として、理系分野の博士前期課程修了者の工学系分野への進学・就職者数	平成25年度から平成27年度の平均 目標値 (単位:人)	60	65	70	75	75	75	b	b		
						54	実績値 (単位:人)	61	66	73							
						135.2%	達成状況 (率)	101.7%	101.5%	104.3%			97.3%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
30	お茶の水女子大学		2	高度な専門的知識を有したグローバル女性リーダーの育成のための教育改革	高大接続教育、学部・大学院一貫教育、大学院副専攻キャリア教育を開発・実施し、高・大、学部・院一貫の学修ポートフォリオによりシームレスな教育高度化を実現する。大学間連携による教学IRを推進し教育の内部質保証体制を構築する。筑波大学附属高校と連携して新たなプログラムを開発し、「高度専門職に就くために必要な資質能力」及び「新しい時代に適応し切り拓く力」を備えた人材を育成するためのキャリア教育を実施する。		平成27年度末 目標値 (単位:%)	5	10	15	20	25	30	b	b		
						2	実績値 (単位:%)	10.8	11.0	16.2							
						810.0%	達成状況 (率)	216.0%	110.0%	108.0%			54.0%				
							平成27年度末 目標値 (単位:%)	25	30	35	40	45	50	b	b		
						22.4	実績値 (単位:%)	29.6	36.7	35.2							
						157.1%	達成状況 (率)	118.4%	122.3%	100.6%			70.4%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
30	お茶の水女子大学		(2)			教学比較IRの拡充による教育の高度化の指標として、教学比較IRコモンズに参加する大学数	平成27年度末	目標値 (単位:校)	5	10	14	16	18	20	c	b	
						3	実績値 (単位:校)	7	12	16							
						533.3%	達成状況 (率)	140.0%	120.0%	114.3%			80.0%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
30	お茶の水女子大学		3	グローバル女性リーダー育成のための国際的教育研究拠点形成	グローバル女性リーダーを育成し、女性の更なる活躍推進・男女共同参画社会の実現に寄与するために、重点研究領域として平成27年度に新設した「グローバル女性リーダー育成研究機構」を中心に、国際的ネットワークの拡大・国内外からの女性研究者招へい・新しいグローバル女性リーダー像の発信・リーダースHIP教育の実践等を通じて、グローバル女性リーダー育成のための国際的教育研究拠点を形成する。	グローバル女性リーダー育成研究機構を拠点とした海外機関との連携状況	平成26年度	目標値 (単位:機関)	2	3	4	6	8	10	b	b	
						1	実績値 (単位:機関)	3	5	7							
						700.0%	達成状況 (率)	150.0%	166.7%	175.0%			70.0%				
						グローバル女性リーダー育成研究機構における毎年度の海外からの女性研究者の招へい者数		平成24年度から平成26年度までの平均	目標値 (単位:名)	10	10	15	15	15	15	b	b
						2	実績値 (単位:名)	17	13	19							
						950.0%	達成状況 (率)	170.0%	130.0%	126.7%			126.7%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								30	お茶の水女子大学		(3)					グローバル女性リーダー育成研究機構の重点研究領域に関する学際的国際共同研究の実施状況
1	実績値 (単位:件)	6	6	6	/	/	/	b	b							
600.0%	達成状況 (率)	120.0%	120.0%	120.0%	/	/	120.0%									

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								30	お茶の水女子大学		4	健康科学・人間発達科学分野における国際的研究拠点形成	本学の強み・特色である生命科学・生活科学・人間発達科学等の分野を結集・融合し、乳幼児から高齢者までの心身の健康と生活向上に資する研究・開発と教育をシームレスに結ぶヒューマンライフイノベーション開発研究機構を設置。国内外の大学・研究機関、企業等と連携し、人が一生を通じて健康で心豊かに過ごしていくための健康イノベーションを社会に発信するため、健康科学・人間発達科学分野における国際的研究拠点を形成する。			健康科学・人間発達科学分野における社会への影響度を測る指標として、当該分野におけるニュース・リリース件数
10	実績値 (単位:件)	20	23	31	/	/	/	b	a							
310.0%	達成状況 (率)	133.3%	135.3%	155.0%	/	/	103.3%									
						国内外の大学、研究機関、企業、行政等との共同・受託研究等の状況	平成27年度末	目標値 (単位:件)	15	18	21	25	29	33	b	a
11	実績値 (単位:件)	17	19	32	/	/	/	b	a							
290.9%	達成状況 (率)	113.3%	105.6%	152.4%	/	/	97.0%									

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
30	お茶の水女子大学		(4)			健康科学・人間発達科学分野における論文数の状況	平成27年度末	目標値 (単位:報)	50	55	60	65	70	75	b	a		
							50	実績値 (単位:報)	51	83	100							
							200.0%	達成状況 (率)	102.0%	150.9%	166.7%			133.3%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
30	お茶の水女子大学		5	教育研究成果の活用による社会貢献	本学では、サイエンス&エデュケーションセンターを中心として、教育委員会との連携による理科教員研修や、小・中・高校のニーズに応じた理科教育支援を行ってきた。さらに東日本大震災被災地理科教育復興支援事業を通じて得られた調査・研究結果も蓄積されている。これらの教育研究成果を全国に実装するために、地域の教育委員会等と連携して、災害時に途切れない理科教育システムを構築し、地域理科教育の向上に寄与する。	地域の減災の拠点となる教育委員会や大学等との、復興支援・減災を組み込んだ相互協力に関する協定書の締結数	平成27年度末	目標値 (単位:件)	9	10	11	12	13	14	b	b		
							8	実績値 (単位:件)	9	10	11							
							137.5%	達成状況 (率)	100.0%	100.0%	100.0%			78.6%				
							平成27年度末	目標値 (単位:校)	42	56	74	96	120	136	b	b		
							12	実績値 (単位:校)	45	66	90							
							750.0%	達成状況 (率)	107.1%	117.9%	121.6%			66.2%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
30	お茶の水女子大学		(5)			被災した小学校3年 から中学校3年 までの全7学年で、 災害時に途切れる ことのない理科教 育システム構築の ためのコンテンツの 活用状況	平成27年度 末 目標値 (単位:件)	9	90	132	186	252	324	b	b
4	実績値 (単位:件)	13	94	160											
4000.0%	達成 状況 (率)	144.4%	104.4%	121.2%			49.4%								

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
31	電気通信大学	本学は、目指すべき大学像を「UECビジョン」として策定し、ビジョンの実現に向けて、改革を着実に進めているところである。このビジョンにおいては、人間と人間、自然、社会、人工物との間に存在する相互作用を広義のコミュニケーションとして捉え、その本質と意義を理解し、機能的に向上させることを目的とした「総合コミュニケーション科学」に係る教育研究の世界的拠点を目指すことを、教育研究の総合戦略として掲げている。 この「UECビジョン」を踏まえながら、更にその先の不断な発展に向けた挑戦として、更なる学長のリーダーシップを発揮し、以下の改革を推進し教育研究の機能強化を実現する。 ①イノベーションを創出するための教育研究組織の再編成とその検証 ②強み・特色を最大限に活かした世界水準の教育研究の推進及び先端的研究拠点の形成 ③社会的課題を意識したソリューションを創出するための革新的学際分野の創造と諸組織や地域、産業界等との協働 ④教育研究の活性化に繋がる人事・給与システムの実施 更に、上記を推進する上で、自ら改善・発展する仕組みを構築し、不断に改革を実行する。	1	情報通信領域を先導する特色ある教育研究の戦略的推進	本学の強み・特色である情報通信領域は、本学の創設の目的と、大学の名の由来として、社会からその発展・革新への貢献を強く要請されている領域である。この社会の要請に応えるべく、本学ならではの教育研究の推進により情報通信領域をリードし、「総合コミュニケーション科学」を実践する教育研究の世界的拠点を實現させるため、組織の再編成、ガバナンス改革を含む特色ある教育研究の取組を推進する。	常勤で勤務している40歳未満の若手教員数	平成27年度末	目標値 (単位:名)	80	82	84	86	88	96	b	b
							78	実績値 (単位:名)	80	82	86					
							110.3%	達成 状況 (率)	100.0%	100.0%	102.4%			89.6%		
							平成27年度末	目標値 (単位:%)	7.2	7.7	8.3	8.9	9.4	10.0	b	b
							6.6	実績値 (単位:%)	7.2	7.8	8.3					
							125.8%	達成 状況 (率)	100.0%	101.3%	100.0%			83.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
31	電気通信大学		(1)			情報・通信系、理工系職種への就職比率	平成27年度末	目標値 (単位:%)	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	b	b		
							89.0	実績値 (単位:%)	91.4	92.0	92.2							
							103.6%	達成状況 (率)	101.6%	101.1%	100.2%			97.1%				

-199-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点								
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度										
31	電気通信大学		2	『光る』研究(オプティクス分野)で、最先端研究拠点を形成	本学の強み・特色である情報通信領域の中でも、特に突出した力を有する光科学(オプティクス)分野を最大限に活かし、学長のリーダーシップの下重点的に資源を再配分し、世界水準の最先端研究の推進と、高度専門性を身に付けたイノベティブ人材育成の展開拠点を形成する。	光科学(オプティクス)分野における科研費の新規採択数	第2期中期目標期間	目標値 (単位:延べ件数)	5	8	11	14	17	19	b	b							
							12	実績値 (単位:延べ件数)	5	8	11												
							91.7%	達成状況 (率)	100.0%	100.0%	100.0%			57.9%									
												光科学(オプティクス)分野における被引用数が当該分野のCNCI値(世界平均引用数)の3倍を超える論文の数	平成27年度末	目標値 (単位:件)	4	4	5	5	5	6	b	a	
													3	実績値 (単位:件)	4	5	7						
													233.3%	達成状況 (率)	100.0%	125.0%	140.0%			116.7%			

-200-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)	目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)			
31	電気通信大学		3	特色ある研究を融合させた革新的学際・融合分野を創造	学長のリーダーシップの下、本学が強みとする情報・通信・電子・ロボティクス・光科学などの情報通信領域の諸分野の協働を推進し、かつ他の領域との協働に積極的に取り組むことで、情報通信領域の諸分野の高い実力を最大限に活用し、社会的課題のソリューション創出を実現する革新的な学際・融合分野の創造を推進する。創造された学際・融合分野に対して、資源の再配分によりヒト、スペースを拡充し、分野横断的な広い視野と革新的研究を切り開くイノベータティブな人材の育成と、「総合コミュニケーション科学」を実践する世界水準の研究の展開を、加速度的に推進する。	人工知能分野に関する査読付き国際発表論文の採択数	平成27年度末	目標値 (単位:件)	60	64	68	72	76	80	b	b
							51	実績値 (単位:件)	72	64	80					
							156.9%	達成状況 (率)	120.0%	100.0%	117.6%			100.0%		
						国内外の大学や研究機関等とのスマートグリッド技術に関する共同研究の件数	平成27年度末	目標値 (単位:件)	6	6	7	8	9	10	b	a
							3	実績値 (単位:件)	6	7	12					
							400.0%	達成状況 (率)	100.0%	116.7%	171.4%			120.0%		

-201-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
								目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)	目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)		
31	電気通信大学		(3)		脳科学分野に関する国際誌における論文の採択数	平成27年度末	目標値 (単位:件)	5	6	7	8	9	10	b	b
						5	実績値 (単位:件)	7	8	7					
						140.0%	達成状況 (率)	140.0%	133.3%	100.0%			70.0%		

-202-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
32	一橋大学	グローバル化の進む世界において、社会改善への貢献と高度な人材の育成という使命を達成するため、一橋大学の特色と強みを生かした機能強化に取り組み、研究・教育の更なる高度化と国際化を推進して、社会科学における世界最高水準の教育研究拠点を目指す。	1	社会科学高等研究院を中核とする世界最先端の研究の推進	学長直属の研究組織である社会科学高等研究院を中核に、世界及び日本における喫緊の社会的課題解決を目指し、学際的に取り組む研究プロジェクトを企画・立案し、重点的に資源を投入する。また、各研究領域を先導する海外の研究者を随時招聘して国際共同研究を活性化させ、各分野のトップジャーナルに掲載される論文など、世界最高水準の研究成果を生み出す。	科研費採択率の高水準維持(全国1位)	H27年度末	目標値 (単位:位)	全国1位	全国1位	全国1位	全国1位	全国1位	全国1位	b	a	
							全国1位	実績値 (単位:位)	全国1位	全国1位	全国1位						
							100.0%	達成状況 (率)	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%			
							(戦略1にかかる)査読付英語論文数(累計)	H27年度末	目標値 (単位:本)	45	90	135	180	225	270	b	b
								144	実績値 (単位:本)	59	111	157					
								109.0%	達成状況 (率)	131.1%	123.3%	116.3%			58.1%		

-203-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
32	一橋大学		(1)			社会科学高等研究院における共同研究数	H27年度末	目標値 (単位:件)	14	16	19	21	23	26	b	a
							12	実績値 (単位:件)	23	28	25					
							208.3%	達成状況 (率)	164.3%	175.0%	131.6%			96.2%		

-204-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
32	一橋大学		2	世界最高水準のプロフェッショナル・スクールの構築	日本で最高の評価を得ているビジネス、法、政策等のプロフェッショナル教育を行う一橋大学が、その機能を一層強化し、国際的に通用する高度専門職業人の養成を行う。そのため、既存の商学研究科、法学研究科、国際企業戦略研究科の資源を効果的に集中させ、2つのプロフェッショナル・スクールに再編統合し、世界最高水準のプロフェッショナル・スクールを構築する。また、人口の高齢化とともに社会的ニーズが極めて高まっている医療・介護、社会保障等の分野における高度専門職業人を養成する新しい教育プログラムを創設する。	QS世界大学ランキングにおけるEmployer Reputation指標の順位(総合)	H27年度末	目標値 (単位:位)	200位	180位	160位	140位	120位	100位	b	a
								実績値 (単位:位)	196位	139位	114位					
							780.7%	達成状況(率)	102.0%	129.5%	140.4%			87.7%		
						司法試験累積合格率(全国1位)	H27年度末	目標値 (単位:位)	全国1位	全国1位	全国1位	全国1位	全国1位	全国1位	b	a
							全国1位	実績値 (単位:位)	全国1位	全国1位	全国1位					
							100.0%	達成状況(率)	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
32	一橋大学		(2)		ビジネススクールの質の向上	40	H27年度末	目標値 (単位:%)	40	60	60	80	80	100	b	a
								実績値 (単位:%)	60	80	80					
							200.0%	達成状況(率)	150.0%	133.3%	133.3%			80.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
32	一橋大学		3	質の高いグローバル人材の育成	質の高いグローバル人材を育成するために、基盤的情報を得るために必要な調査を随時実施し、過去のデータを分析してカリキュラムを改革し、その質を高めるとともに、国際通用性の高い教育システムを構築していく。また、この教育システムの基盤の上に、学生の国際流動性を実際に高めていくための各種施策を組み合わせ実施するとともに、高大接続改革の一環として、各学部独自のアドミッション・ポリシーに基づき、全学部で推薦入試を導入する。	外国人留学生数	H27年度末	目標値 (単位:人)	740	760	770	780	790	800	b	b
							732	実績値 (単位:人)	766	858	904	/	/	/		
							123.5%	達成状況 (率)	103.5%	112.9%	117.4%	/	/	113.0%		
						推薦入試の全学実施及び新学期制の導入に伴う海外派遣学生の増加状況(累計)	H27年度末	目標値 (単位:人)	620	962	1,324	1,706	2,108	2,530	b	b
							309	実績値 (単位:人)	639	1,085	1,567	/	/	/		
							507.1%	達成状況 (率)	103.1%	112.8%	118.4%	/	/	61.9%		

-207-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
32	一橋大学		(3)		学部学生の在学中の英語能力の向上度合(TOEFL-ITPの平均点)	H27年度末	目標値 (単位:点)	510	520	520	520	520	520	b	b
						509	実績値 (単位:点)	513	520	536.6	/	/	/		
						105.4%	達成状況 (率)	100.6%	100.0%	103.2%	/	/	103.2%		

-208-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点								
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度										
								目標値 (単位:百万円)	実績値 (単位:百万円)	達成状況 (率)	目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)										
32	一橋大学		4	社会の新たなニーズに対応するため、またそれに即した政策に教育研究の強化	刻々と変化する社会ニーズに対応するため、またそれに即した政策に教育研究の強化	民間企業からの外部資金の獲得状況(累計)	H27年度	目標値 (単位:百万円)	9.0	19.2	30.7	43.7	58.4	75.1	b	b							
							8	実績値 (単位:百万円)	11	29	51												
							637.5%	達成状況 (率)	122.2%	151.0%	166.1%			67.9%									
										4	社会の新たなニーズに対応するため、またそれに即した政策に教育研究の強化	刻々と変化する社会ニーズに対応するため、またそれに即した政策に教育研究の強化	民間企業・自治体との共同研究プロジェクト数	平成27年度	目標値 (単位:件)	4	4	4	5	5	6	b	a
														4	実績値 (単位:件)	5	6	11					
														275.0%	達成状況 (率)	125.0%	150.0%	275.0%			183.3%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								目標値 (単位:%)	実績値 (単位:%)	達成状況 (率)	目標値 (単位:件)	実績値 (単位:件)	達成状況 (率)			
32	一橋大学		(4)			ホスピタリティ・マネジメント・プログラムの質の向上	H29年度末	目標値 (単位:%)		50	50	60	80	100	b	b
							50	実績値 (単位:%)		50	50					
							100.0%	達成状況 (率)	—	100.0%	100.0%			50.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								平成27年度	8.20	8.90	9.60	10.30	11.00			11.77
33	横浜国立大学	学長のリーダーシップを十分発揮し、戦略的かつ機動的な資源再配分の下、横浜・神奈川に立地し、本学の強み・特色ある国際レベルの実践的で高度な教育研究機能の強化と外国人留学生受入実績の優位性を活かしたグローバルキャンパス環境に拡充し、世界に向けた新たな「知」を創造・発信していくことで、「21世紀グローバル新時代で活躍できる人材育成で世界を目指し、将来の社会の在り方を提示する都市型文理融合大学」を目指す。	1	教育戦略	21世紀グローバル新時代に国際社会で活躍する人材育成の目標達成に向けて、理工学府、環境情報学府改組を契機に「大学院教育強化推進センター」設置による全学一体の大学院改革とともに、都市科学部設置による全学一体学部改革の推進および「高大接続・全学教育推進センター」設置による高大接続システムの高度化、高年次履修システムや副専攻プログラム等の導入による「YNUグローバル教育コア」の構築を実現するものである。	グローバルキャンパス化推進による外国人留学生受入率	目標値 (単位:%)	8.20	8.90	9.60	10.30	11.00	11.77	b	b	
							実績値 (単位:%)	8.17	8.24	9.23	9.69					
							達成状況 (率)	118.6%	100.5%	103.7%	100.9%					82.3%
							高大接続システム改革によるTOEFL-ITP(Level1)英語統一テスト平均値	目標値 (単位:点)	470.00	480.00	490.00	500.00	510.00	520.00	b	c
								実績値 (単位:点)	468.25	485.39	485.27	486.10				
								達成状況 (率)	103.8%	103.3%	101.1%	99.2%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
								平成27年度	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5			7.0
33	横浜国立大学		(1)		YNUグローバル教育コア構築による日本人学生の海外体験率	【年度ごと】	目標値 (単位:%)	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	b	a	
							実績値 (単位:%)	3.5	6.5	7.3	8.3					
							達成状況 (率)	237.1%	144.4%	146.0%	150.9%					118.6%
							全学一体の学部改革および大学院改革による就職率の向上	目標値 (単位:%)	95.1	95.1	95.1	95.1	95.1	95.1	b	b
								実績値 (単位:%)	95.1	96.6	96.2	96.5				
								達成状況 (率)	101.5%	101.6%	101.2%	101.5%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
33	横浜国立大学		2	研究戦略	「超スマート社会」への変革に備え、各種リスクの存在を見据えた事前の対応を可能とするリスク共生社会実現のため、「リスク共生学」を創出する「先端科学高等研究院」を本学の強みとする、より先鋭的な文理融合拠点として展開し、社会ニーズの分析及び社会実装の拠点となる「リスク共生社会創造センター」との連携によって『研究戦略』における3つの精神の結実を目指す。	外部資金比率 【第3期累積】	第2期中期計画期間平均	目標値 (単位:%)	10.3	10.8	11.3	11.8	12.4	13.0	b	b
							9.8	実績値 (単位:%)	13.6	13.75	14.3					
							145.9%	達成状況 (率)	132.0%	127.3%	126.5%			110.0%		
						第3期中期計画期間における科研費基盤(S)の新規採択累積件数 【第3期累積】	第2期中期計画期間累積	目標値 (単位:件)	1	2	3	4	5	6	b	b
							5.00	実績値 (単位:件)	2	3	3					
							60.0%	達成状況 (率)	200.0%	150.0%	100.0%			50.0%		

-213-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
33	横浜国立大学		(2)			教員一人あたりにおける民間企業との共同研究件数 【年度ごと】	平成27年度末時点	目標値 (単位:件)	0.303	0.318	0.332	0.347	0.361	0.376	b	a
							0.289	実績値 (単位:件)	0.328	0.394	0.460					
							159.2%	達成状況 (率)	108.3%	123.9%	138.6%			122.3%		

-214-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
33	横浜国立大学		3	国際・地域戦略	グローバル新時代で活躍するには、グローバルな視座を有し、ローカルな課題に対応できるイノベーション能力が必須である。このことから、本戦略では、地域・国際面での課題を解決するための教育研究拠点としての活動を充実させることで人材育成に寄与し、さらに成果の発信・還元を推進することで、地域社会の再生や新興国の持続可能な成長へ貢献し、将来の社会の在り方を提示していくことを狙いとす。	教員一人あたりの地方公共団体または同一県内民間企業との外部資金(共同研究・受託研究)獲得件数 【年度ごと】	平成26年度 目標値 (単位:件)	0.1007	0.1055	0.1103	0.1151	0.1199	0.1247	b	b
							0.0959	0.1078	0.1122	0.1367					
							142.5%	107.1%	106.4%	123.9%			109.6%		
						グローバルキャンパス化推進による外国人留学生受入率 【年度ごと】 【再掲】	平成27年度 目標値 (単位:%)	8.20	8.90	9.60	10.30	11.00	11.77	b	b
							8.17	8.24	9.23	9.69					
							118.6%	100.5%	103.7%	100.9%			82.3%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
33	横浜国立大学		(3)		YNUグローバル教育コア構築による日本人学生の海外体験率 【年度ごと】 【再掲】	平成27年度 目標値 (単位:%)	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	b	a	
						3.5	6.5	7.3	8.3						
						237.1%	144.4%	146.0%	150.9%			118.6%			

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
34	新潟大学	日本海側に立地する大規模総合大学の特性を踏まえ、医療分野をはじめ分野横断的な教育研究拠点として存立し、地域貢献及び強み・特色ある分野の課題に重点的に取り組む。日本海側広域の課題解決への貢献を通じて地域社会における国立大学の役割を積極的に果たすとともに、将来急激な高齢化等の社会的課題への直面が予期される対岸アジア社会を基点とした国際交流ネットワーク強化を通じて得られた成果を国内地域社会へも還元する。	1	新潟大 学 型 質 保 証 に よ る 学 位 プ ロ グ ラ ム の 推 進 を 中 核 と し た 教 学 シ ス テ ム 改 革 - 人 材 養 成 シ ス テ ム 改 革-	本学の先導的教育改革による資源(全学科目化、分野・水準表示法、主専攻・副専攻プログラム等)を最大限活用し、既存学部再編と学生自身が学修をデザインする到達目標創生型の創生学部新設の2つを起点に教育改革を断行する。教育組織再編・強化・改善のサイクルを継続的に実施するため、学習機会の柔軟化や国際基準の質保証と、全学組織再編等を通じて本部との連携に基づく教学ガバナンス強化によって、全学の改革を加速させる。	教育プログラム評価に基づき見直したプログラム数	平成28年度末時点	目標値 (単位:プログラム)	-	24	24	30	42	-	b	b	
							-	実績値 (単位:プログラム)	-	24	24	/	/	/			
							-	達成状況(率)	-	100.0%	100.0%	/	57.1%	-			
							平成28年度末時点	目標値 (単位:人)	-	18	45	90	140	-	b	b	
								-	実績値 (単位:人)	-	32	175	/	/			/
								-	達成状況(率)	-	177.8%	388.9%	/	125.0%			-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
34	新潟大学		(1)			クォーター制における学外学修への参加状況	平成28年度末	目標値 (単位:人)	-	240	420	600	780	960	b	a
							-	実績値 (単位:人)	-	275	1,125	/	/	/		
							-	達成状況(率)	-	114.6%	267.9%	/	/	117.2%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
34	新潟大学		2	「環東アジア」地域教育研究拠点形成と地域社会への還元システム構築-社会貢献システム確立-	全学司令塔の下に、日本海側中央にある新潟の地から環東アジア地域へ、環東アジア地域から新潟の地への社会還元への相互連携強化を目的とした部局横断のネットワーク型教育研究拠点を形成する。知・地の拠点として、環東アジア地域における文化・歴史、政治・経済、医療、産業技術等の課題提起・提言による教育研究成果の発信、社会で活躍する人材輩出等を通じた社会還元効果を高めるべく域内プラットフォームの機能を強化する。	環東アジア地域の大学等機関との大学間交流協定及び部局間交流協定に基づく学生交換協定(DDP協定を含む)の件数	平成27年度末	目標値 (単位:件)	157	169	180	192	204	215	b	b	
							145	実績値 (単位:件)	160	177	185						
							127.6%	達成状況 (率)	101.9%	104.7%	102.8%			86.0%			
							環東アジア地域における外国人留學生の受入及び日本人学生の派遣人数	平成27年度末	目標値 (単位:人)	1,118	1,167	1,217	1,266	1,315	1,365	b	b
								1,069	実績値 (単位:人)	1,039	1,200	1,310					
								122.5%	達成状況 (率)	92.9%	102.8%	107.6%			96.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
34	新潟大学		(2)		新潟県市町村その他機関との連携協定の締結数	新潟県市町村その他機関との連携協定の締結数	平成27年度	目標値 (単位:機関数)	12	15	18	21	24	27	b	b	
							9	実績値 (単位:機関数)	14	20	21						
							233.3%	達成状況 (率)	116.7%	133.3%	116.7%			77.8%			
							共同研究の契約金額	平成27年度	目標値 (単位:千円)	257,346	285,876	314,406	342,936	371,466	400,000	b	a
								228,816	実績値 (単位:千円)	283,302	354,239	514,274					
								224.8%	達成状況 (率)	110.1%	123.9%	163.6%			128.6%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
34	新潟大学		3	健康長寿と安全・安心社会形成への貢献のため、先駆的研究によるイノベーション創出と次世代人材養成の機能を強化する。そのため総合大学の強みを活かし、脳・神経科学をはじめ医歯学分野、災害・復興科学分野などにおけるIoT・ビッグデータ利活用や環境エネルギー研究開発など分野を超えた連携・融合研究すなわち「超域」研究の活性化につながるテーマに重点的に取り組み、国内外における分野間・研究者コミュニティ間のネットワーク拠点へと進展させる。	論文被引用数の直近6年間平均値	平成27年末	目標値 (単位:件)	6,684	6,868	7,052	7,236	7,420	7,605	b	b
						6,500	実績値 (単位:件)	6,756	7,522	7,697					
						118.4%	達成状況 (率)	101.1%	109.5%	109.1%			101.2%		
					新分野「システム脳病態学」の創成に向けた脳科学・神経精神疾患関連の直近6年間の研究総論文数	平成27年末時点	目標値 (単位:報)	755	774	792	811	829	848	b	b
						737	実績値 (単位:報)	763	788	827					
						112.2%	達成状況 (率)	101.1%	101.8%	104.4%			97.5%		

-221-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
34	新潟大学		(3)		新たに設置した学際的な研究ユニットの累計数	平成27年度末	目標値 (単位:ユニット)	15	30	45	60	75	90	b	b
						0	実績値 (単位:ユニット)	11	30	45					
						—	達成状況 (率)	73.3%	100.0%	100.0%			50.0%		
					国際会議(シンポジウム、研究会等)開催数の直近6年間平均値	平成27年度末	目標値 (単位:件)	8	9	10	11	12	14	b	b
						7	実績値 (単位:件)	8	11	12					
						171.4%	達成状況 (率)	100.0%	122.2%	120.0%			85.7%		

-222-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
35	長岡技術科学大学	日本のものづくり地域及び世界の次世代戦略地域の活性化、発展を牽引し、技学に基づく産業創造リーダー育成を自律的に持続発展させる大学	1	高度ものづくり人材育成を目指す技学教育の継続的発展	高度な技学力を持ち、未踏領域・未踏分野に挑戦し、技術イノベーションを興せるタフなグローバルイノベーション技術者を育成すべく、「教育戦略本部」を設置し、学生の主体的・能動的な学びを支援する施設・設備の整備、教育改革プログラムの高度化、高専・技大連携教育と入試の一体的改革を推進するとともに、日本人学生の英語力強化、留学生受入れの倍増を支える受入れ支援・混住型宿舍整備等、国際連携教育プログラムの基盤を強化する。	高専等との協働教育におけるe-learningコンテンツ作成数の増加状況(累計)	平成27年度	目標値(単位:単元)	22	46	72	235	265	297	c	b
							20	実績値(単位:単元)	26	88	207					
							1035.0%	達成状況(率)	118.2%	191.3%	287.5%			69.7%		
						企業や外部機関において単位取得を伴う長期実習を行った学生(修士課程等)の割合	平成27年度	目標値(単位:%)	82.7%	82.7%	82.8%	82.8%	82.8%	82.9%	b	b
							82.7%	実績値(単位:%)	82.7%	82.8%	83.4%					
							100.8%	達成状況(率)	100.0%	100.1%	100.7%			100.6%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
35	長岡技術科学大学		(1)			全学生に対する外国人留学生比率の増加状況	平成27年	目標値(単位:%)	16.8%	17.8%	18.9%	19.9%	21.0%	22.0%	b	b
							15.7%	実績値(単位:%)	17.7%	19.5%	22.4%					
							142.7%	達成状況(率)	105.4%	109.6%	118.5%			101.8%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
35	長岡技術科学大学		2	未来技術分野での世界レベル研究拠点の形成と地域産業の活性化	本学の強みである3研究分野を中核にした「未来技術科学創造教育研究機構」において、3分野の深化と融合・フロンティア研究の推進により、安全・安心・低環境負荷指向型未来社会構築の拠点を形成する。さらに「技学グローバルセンター」を組織整備し、全国高専モデル地域・海外連携大学とのネットワークを基に地域と一体となって産学官連携の戦略を策定し、起業人材育成と研究開発へと展開し国内外の地域産業を活性化する。	海外の先導的な研究機関との共同研究を増加させることによる、海外研究機関との共著論文数割合の増加状況	平成27年	目標値 (単位:%)	20.9%	22.3%	23.7%	25.1%	26.5%	27.9%	b	b
							19.5%	実績値 (単位:%)	26.2%	26.2%	24.8%					
							127.2%	達成状況 (率)	125.4%	117.5%	104.6%			88.9%		
						学内組織の整備による、企業との共同研究件数の増加状況(累計)	第2期中期目標期間中の平均値(H22~H27)	目標値 (単位:件)	281	429	582	740	903	1071	b	b
							138	実績値 (単位:件)	285	467	687					
							497.8%	達成状況 (率)	101.4%	108.9%	118.0%			64.1%		

-225-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200 文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から の伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
35	長岡技術科学大学		(2)			より深い産学連携の貢献のため、技術開発センターを中心とした客員教員の地位を確立することによる、企業からの客員教員数(累計)	第2期中期目標期間中の平均値(H22~H27)	目標値 (単位:人)	52	78	104	130	156	182	b	b
							26	実績値 (単位:人)	57	82	116					
							446.2%	達成状況 (率)	109.6%	105.1%	111.5%			63.7%		
						企業との国際共同研究実施件数の増加状況(累計)	平成27年度までの累計数	目標値 (単位:件)	7	11	15	19	23	27	b	a
							3	実績値 (単位:件)	9	14	21					
							700.0%	達成状況 (率)	128.6%	127.3%	140.0%			77.8%		

-226-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
35	長岡技術科学大学		3	技科大と高専が連携・協働したグローバル・イノベーション人材の育成	GI-netを活用した高専・技科大の連携をベースに、共同研究・共同指導を通じたものづくり地域企業との連携や、海外派遣等を通じた国際産学連携教育を推進し、実践的技術者教育(技学教育)の高度化を図ることで、地方創生のリーダーに不可欠なイノベーション創出能力とSDGs達成に貢献するグローバル能力を併せ持つ人材を育成するとともに、本学の特色ある技学教育を世界に展開する。	高専と企業を含む共同研究件数の増加状況	平成27年度中	目標値 (単位:件)	0	10	20	30	40	51	b	b
							0	実績値 (単位:件)	4	10	24					
							—	達成状況 (率)	—	100.0%	120.0%			47.1%		
						学部学生の5~6カ月間の長期海外実務訓練への派遣学生数の増加状況	第2期中期目標計画期間中	目標値 (単位:人)	58	63	68	72	76	80	b	b
							53	実績値 (単位:人)	59	66	72					
							135.8%	達成状況 (率)	101.7%	104.8%	105.9%			90.0%		

-227-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
35	長岡技術科学大学		(3)			高専との共同研究1件当たりの高専生及び大学院生の学会発表件数の増加状況	平成27年度	目標値 (単位:件)	1.00	1.22	1.44	1.66	1.88	2.10	b	a
							0	実績値 (単位:件)	1.32	1.24	3.45					
							—	達成状況 (率)	132.0%	101.6%	239.6%			164.3%		

-228-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
35	長岡技術科学大学		4	大学運営組織の自己改革-教育・研究・運営改革-	年俸制及びクロスアポイントメント制度の積極的活用等による若手教員や民間企業経験者など多様な人材の確保、IRに基づく戦略的・客観的な資源の再配分、及び監事や外部有識者の意見の積極的活用によるガバナンス強化により、大学運営組織の自己改革を推進する。	評価指標	テニュアトラック制度等やIR機能強化による戦略的な教員採用等を活用した年俸制教員の割合の増加状況	平成27年度末	目標値 (単位:%)	10%	12%	14%	16%	18%	20%	b	b	
								8%	実績値 (単位:%)	10.9%	12.3%	14.9%						
								186.3%	達成状況 (率)	109.0%	102.5%	106.4%			74.5%			
								IR推進室が執行部、学内委員会及び各部署に提言した件数(累計)	平成27年度末までの累計	目標値 (単位:件)	1	5	9	13	17	21	b	b
									0	実績値 (単位:件)	2	10	14					
									—	達成状況 (率)	200.0%	200.0%	155.6%			66.7%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
36	上越教育大学		1	次世代のための新たな教員養成教育課程の開発・導入	思考力を中核とし、それを支える基礎力と、教育に活用できる実践力で構成される「育成すべき能力」と豊かな教養、使命感、人間愛等(「21世紀を生き抜くための能力+α」)を備えた教員を養成するため、新学習指導要領に対応する新たな教育課程の開発・導入及び修士課程の機能を教職大学院に移行するものである。 また、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、学生の主体的、協働的な学習を深め、児童・生徒に主体的、協働的な学びを指導できる能力を備えた教員を養成する。	評価指標	授業科目におけるアクティブ・ラーニング実施率	平成27年度	目標値 (単位:%)	50	50	67	71	76	80	b	b	
								12.3	実績値 (単位:%)	20.2	62.0	77.9						
								633.3%	達成状況 (率)	40.4%	124.0%	117.1%			97.4%			
								附属学校教員による教員養成実地指導講師としての授業参加人数	平成28年度	目標値 (単位:人)	21	21	21	21	21	21	b	b
									21	実績値 (単位:人)	21	21	21					
									100.0%	達成状況 (率)	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%		

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
36	上越教育大学		(1)			学校現場での指導経験を有する大学教員の割合	平成27年度末	目標値 (単位:%)	35.0	38.0	41.0	44.0	47.0	50.0	b	b		
							34.0	実績値 (単位:%)	35.9	38.0	41.4							
							121.8%	達成状況 (率)	102.6%	100.0%	101.0%			82.8%				

-231-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点			
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度					
36	上越教育大学		2	地域・学校現場における課題解決型プログラムの開発・体系化	現代的教育課題の解決に向けた教育研究を推進するため、教育委員会や学校現場等との連携体制を強化するとともに、学校現場における指導経験を有する者や教育実践に関する研究実績を有する研究者等を配置するなど、教育研究実施体制を強化し、支援に係る組織体制を充実する。	教育現場での課題解決のための連携協力校数	平成25～27年度(平均)	目標値 (単位:延べ学校数)	40	40	40	41	69	85	b	b		
							41	実績値 (単位:延べ学校数)	46	41	47							
							114.6%	達成状況 (率)	115.0%	102.5%	117.5%			55.3%				
						学校現場の課題解決に資するセミナー等の累計開催回数	平成25～27年度(平均)	目標値 (単位:累計回数)	190	380	570	760	950	1140	b	b		
							188	実績値 (単位:累計回数)	193	383	661							
							351.6%	達成状況 (率)	101.6%	100.8%	116.0%			58.0%				

-232-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点		
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
36	上越教育大学		(2)			教育行政機関等との事業取組数	平成27年度 目標値 (単位:件数)	15	15	20	20	20	20	b	b		
						15	実績値 (単位:件数)	16	19	24							
						160.0%	達成状況(率)	106.7%	126.7%	120.0%			120.0%				

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点							
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度									
36	上越教育大学		3	入学から卒業・修了までの一貫した総合的な学生支援の構築	学生の教員への就職を見据えた、学校でのボランティア活動等の体系化の推進や、地域における学生の自主的で多様な学びの機会の充実、これらの活動を支援する体制を強化するとともに、学生への支援を客観的に検証できるシステムを開発し、導入することで、教職キャリアのための総合的な修学・就職支援を構築することにより、入学から卒業・修了までの一貫した総合的な学生支援を行う。	学部卒業者の教員・保育士就職率(卒業生から進学者を除く)	第2期中期目標期間平均	目標値 (単位:%)	80	80	80	80	80	80	b	b						
							80	実績値 (単位:%)	81.5	80.6	80.9											
							101.1%	達成状況(率)	101.9%	100.8%	101.1%			101.1%								
												大学院修了者の教員・保育士就職率(修了生から現職教員、進学者及び外国人留学生を除く)	第2期中期目標期間平均	目標値 (単位:%)	80	80	80	80	80	80	b	b
							79.5	実績値 (単位:%)	77.7	81.1	81.2											
							102.1%	達成状況(率)	97.1%	101.4%	101.5%				101.5%							

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点	
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
36	上越教育大学		(3)			ボランティア活動等における参加学生人数	平成27年度 目標値 (単位:人)	460	470	500	512	512	512	b	b	
						457 実績値 (単位:人)	463	491	509							
						111.4% 達成状況 (率)	100.7%	104.5%	101.8%			99.4%				

-235-

大学番号	大学名	ビジョンの概要 (最大文字数200文字以内で記載)	戦略番号	戦略名	戦略の概要	評価指標	(上段)基準時点 (中段)基準値 (下段)基準値からの伸び率	目標値・実績値・達成状況						評価項目① 評点	評価項目② 評点						
								H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度								
37	富山大学	富山大学は、第3期中期目標期間において、全国的な教育研究拠点、地域活性化の中核拠点等の機能強化に向けて、全学的なマネジメント体制を確立する。 このため、教育においては、カリキュラム改革や教育方法の改善のほか、社会人の実践的・専門的な学び直し機能の強化など教育システムの改善を行う。 また、研究においては、本学の持つ強み・特色のある先端分野の機能強化を図るとともに、イノベーション創出を支える基盤的教育研究組織の整備・充実を行う。 更に、「地(知)の拠点」を目指し、地域産業や医療機関との連携、地域を支える人材育成など、地域社会への貢献を行う。	1	教育研究組織の再編を起点とした全学的教育改革により、人材育成機能の強化を図る。	ミッションの再定義等を踏まえた大学改革による人材育成機能の強化を図るため、本学の強み、特色を活かした教育研究組織の見直し、再編等の大学改革を実施するとともに、3ポリシーの見直しにより、多面的・総合的な入学選抜の実施、教育課程の体系化、学修成果の可視化、キャリア形成機能の強化等、全学的な教育改革を行う。	アドミッション・ポリシー見直しによる、AO入試募集人員数の状況	平成27年度 目標値 (単位:人)	4	17	17	20	40	49	b	b						
							4 実績値 (単位:人)	4	17	17											
							425.0% 達成状況 (率)	100.0%	100.0%	100.0%			34.7%								
												カリキュラム・ポリシーの見直しによる授業科目改善(学生の授業評価における満足度)	平成27年度 目標値 (単位:満足度5段階)	3.86	3.88	3.90	3.92	3.93	3.94	b	c
							3.86 実績値 (単位:満足度5段階)	3.92	3.96	3.89											
							100.8% 達成状況 (率)	101.6%	102.1%	99.7%				98.7%							

-236-